(一)　第676号　昭和27年月9日25日 第三種郵便物認可　THE MIIKE　【毎週日曜日発行】　昭和36年(1961)6月11日（日）

発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話3033番
7140
編集兼発行人　境　孜

いよいよ梅雨期に入りました。みんなでじゅうぶん健康に注意しあい、さらに団結をかためあって、たたかいをすすめましょう。

犠牲はもうたくさんだ！

宮浦鉱で二名が殉職

今年すでに七名が犠牲

会社の猛省求める

また災害が起こった。これで今年に入ってから七人の犠牲者を出してしまった。十二日、宮浦鉱で落盤による死亡二、重傷一名の災害が起こり、たび重なる災害のひん発に組合員・家族は恐怖と怒りにつつまれている。生産増強に血眼になっている会社の保安サボをこれ以上許していたら、われわれは職場で安心してはたらくことはできない。いまこそみんなで会社に猛省をうながそう。

前月三十九日、四山鉱の変災で死傷者四名を出してからわずか十三日目の六月十一日、こんどは宮浦鉱で変災が起こり死者二、重傷一名の犠牲者を出した。

今年になってから四山、三川と相ついで変災が発生し、死者を出していないところは宮浦だけであったが、就労いらいの保安を無視した生産の前に、ついに宮浦鉱もその犠牲からのがれることはできなかった。

十二日午前十二時十分ごろ、宮浦鉱大斜坑中段新人車置通口（坑口から九〇〇メートル）の拡大作業に従事していた前進工の井上義武さん（22才・三池労組員）村上進さん（48才・第二組合員）らが、第二回マイト二十九本を発破しつり積みで七函目を積込み中に落盤（岩の大きさ三、三米×三、七米×〇、九米）のため被災し、井上さんは即死、村上さんは重傷後同日夜に死亡した。また一緒に働いていた大野さんも負傷をした。

死亡した井上さんの遺族は母キミエさん、妻ヨネ子さんと長女真美ちゃん、長男原二ちゃんの四人で、大沙汰宅九棟の居住である。

なお社葬は十三日通松場会所でしめやかにおこなわれた。

犠牲の上に築かれた一万五千トンベース

今年の一月いらい六月もまだ半ばにもならないのに、すでに七名が死亡している。その変災も一月から五月まで毎月一名が死に、六月生産増強を手上命令とする会社はにははやくも二名が死亡している。生産上昇のためには保安もいきおいのだ。このままの状態がつづけば犠牲者はうなぎのぼりに上る一方である。

一方、生産は争議前と較べると急上昇をみせており、争議前は日産一八、〇〇〇トン弱のベースを示していたのが、いまでは一五、〇〇〇トンと約二倍近い生産をあげている。

死傷者は急上昇

つぎに昭和二十年から現在までの死傷者推移をみてみると（）内は死亡者数

二〇年	（九七）	二八年（一六）
二一年	（四四）	二九年（一六）
二二年	（五八）	三〇年（一七）
二三年	（五二）	三一年（二一）
二四年	（二四）	三二年（四）
二五年	（二二）	三三年（一三）
二六年	（一九）	三四年（一）
二七年	（一一）	

以上七名の命が奪われてきた。

赤星義則さん（36・第二組合）五六〇米西四昇ホーベル片盤拡落で落盤により死亡
二月二十三日（三川鉱）
野崎一さん（44・三池労組）坑底貯炭そうに埋没死亡
三月六日（三川鉱）
川上正月さん（53・三池労組）三五〇米坑道二六卸左一方上段拡口で鉱車の下敷きになり死亡
四月十一日（四山鉱）
大石福太郎さん（53・三池労組）六〇〇米西五卸東一片一昇ホーベルで落盤により死亡
五月二十九日（四山鉱）
村上勉さん（29・第二組合）六〇〇米西五卸東一片一昇NO一卸で落盤死亡
六月十一日（宮浦鉱）
井上義武さん（32・三池労組）中段新人車線拡大斜坑との貫通口で落盤により死亡
村上進さん（48・第二組合）井上さんと同じく落盤により死亡

以上七名の命が奪われてきた。

二〇年	〇・三四一	
二一年	〇・四四九	
二三年	〇・五三六	
二三年	一・〇六八	
二四年	一・〇二六	
二五年	〇・七二三	
二六年	〇・五七二	
二七年	〇・四六二	
二八年	〇・三四一	
二九年	〇・四二四	
三〇年	〇・四九四	
三一年	〇・五九八	
三二年	〇・七二二	
三三年	〇・八一〇	
三四年	〇・九一七	

以上が三十四年までで、就労後を月別にみると

三五年十一月	〇・四〇〇	
十二月	一・一〇三	
三六年 一月	一・一〇三	
二月	一・三七一	
三月	一・二七八	
四月	一・四二七	

三十五年は闘争中であり三十六年にはすでに七名が死亡している。この数字を見ると、一二三日闘争後急速に減っていく死亡者が目立つとともに、今次闘争後また犠牲者が増加しつつあり、一二三日闘争以前の姿に変りそれを上回ってきていることを数字がはっきりと示しているまた、死亡重軽傷者の稼動千人当りにたいする割合をみると、これまた急上昇をたどっており、とくに今年に入ってからは戦後最高の状態をみせている。昭和二十年からの歩はつぎの通り

二〇年	〇・三四一	
二一年	〇・四四九	
二三年	〇・五三六	
二三年	一・〇六八	
二四年	一・〇二六	
二五年	〇・七二三	
二六年	〇・五七二	
二七年	〇・四六二	
二八年	〇・三四一	
二九年	〇・四二四	
三〇年	〇・四九四	
三一年	〇・五九八	
三二年	〇・七二二	
三三年	〇・八一〇	
三四年	〇・九一七	

以上のように月を追うごとに恐ろしいいきおいで死傷者はふくれ上っている。

こんど今の状態がつづく限り、災害は増えこそすれ減ることは全く望めない。われわれは、ここに会社に猛省をうながすとともに、安心して働ける職場をつくるために一大決心をすべきときに迫られてきた。

あれから一年（25）

三池で総評大会

全国に蔓延する三池病

別れを惜しんで離山する代議員たち

六月五日、安保を粉砕し三池闘争を勝ちぬくための〝三池のうたごえ〟が、ホッパー前でひらかれた。会場には九州全域をはじめ遠く山口、広島などからもかけつけホッパーをふためるピケ隊との間にさかんな交流をおこない、安保をふんさいし、三池闘争をかちぬく力強い決意を大牟田の空にとどろきわたらせた。

会社はホッパーでの挑発行為をこれまで何回となく繰りかえしてきたが、そのたびに、悪然とピケを張るわが方の方の前に引き揚げこのところ、なりをひそめていたホッパーではいきおい伝染病シーズンを前にして医療班が〝伝染病どんとこい〟ベエニ匹がポリ二匹を。労働者の団結で伝染病にも勝利しよう〟と決意もかたく大車輪の活動を展開していた。

あの激しい闘争期間中、ホッパー下に数千名が共同生活をして一名の伝染病患者も出なかったことは、奇蹟的なことであり、ピケ隊員の自覚もさることながら、その裏には医療班のなみなみならぬ活動があったことは忘れてならないことである。

当時、伝染病ならぬ「三池病」が日本各地にまんえんしたのも有名なことであった。

「三池病」とは、三池支援を終って帰ると、職場や地域で話すとき、どんな話でもさいごは、「三池」の話になってしまい、また当人は三池以外の話はじなで、同期的なものであった。

大会は二日間にわたって会場の市民会館で行なわれた。開会冒頭アイク訪日反対の抗議が提案され満場一致でこれを決定し、今大会の重要議題である「安保および三池闘争に関する当面の闘争方針」を中心に活発な論議がつづけられた。

そして資金カンパとして三〇〇円を六月中に完了し、八月以降三池闘争がつづく限り毎月五〇円カンパ、全単産は三池へのオルグ派遣を引き締いて強化し、最低三割を強化する。三池を守る会を結成し、全国的に保闘争、民主主義擁護の闘いと結合して三池闘争を発展させることが満場一致決定された。

また、安保闘争では来る十五日に六・四ストを上回る実力行使が決定され、安保粉砕に総力を結集することが決定された。

なお、大会では七千万円のカンパをはじめ、百万円の食糧物資農民からの米麦二千一俵のカンパなど心あたたまるカンパが続々よせられ、大会後は代議員がピケ隊、社宅の激励をおこない各分会に宿泊し、交流をふかめ合ったが、代議員と組合員、主婦の血はしっかりと通い合った。

カンパとして送ってくれた。

× × ×

六月八日、総評第十四回臨時大会が開き現地三池でひらかれた。総評としては地方で大会をひらくということはまったく異例のことで、画期的なものであった。

大会は二日間にわたって会場の市民会館で行なわれた。開会冒頭アイク訪日反対の抗議が提案され満場一致でこれを決定し、今大会の重要議題である「安保および三池闘争に関する当面の闘争方針」を中心に活発な論議がつづけられた。

そして資金カンパとして三〇〇円を六月中に完了し、八月以降三池闘争がつづく限り毎月五〇円カンパ、全単産は三池へのオルグ派遣を強化し、最低三割を強化する。三池を守る会を結成し、全国的に保闘争、民主主義擁護の闘いと結合して三池闘争を発展させることが満場一致決定された。

また、安保闘争では来る十五日に六・四ストを上回る実力行使が決定され、安保粉砕に総力を結集することが決定された。

なお、大会では七千万円のカンパをはじめ、百万円の食糧物資農民からの米麦二千一俵のカンパなど心あたたまるカンパが続々よせられ、大会後は代議員がピケ隊、社宅の激励をおこない各分会に宿泊し、交流をふかめ合ったが、代議員と組合員、主婦の血はしっかりと通い合った

抗議集会を指示

各職場ごとに意志統一

たび重なる変災の発生について組合では指示八号を発してつぎのような保安確立のための抗議集会の行動に立ち上るよう指示した

政暴法粉砕まで

政暴法案はわれわれのたたかいの前に、ついに今国会で成立せず継続審議にもちこされたこの闘いの成果に立って、こんどの力をさらに強め、この悪法粉砕をはからねばならぬ。

【写真は六日労働会館でひらいた政暴法討論集会】

指示第八号

保安確立のための抗議集会に関する指示

昨十一日の宮浦鉱災害による殉職者二名を加え、今年一月以降ついに七名の犠牲者を出すにいたった。

会社側は、五月の三〇万トンをこえる出炭に喜色をみなぎらせているかもしれないが、その反面、いつだれにくるかわからない死の犠牲がわれわれを襲っているのが実態である。

しかも、不当な差別や切り崩しがいまだにおこなわれている。

われわれはお互いの団結をさらに強化し助け合い、何ものにもかえられぬ生命を守る正当な抗議を会社側につきつけ、その猛省を求めるため、左記の通り抗議集会を開催する。

記

一、日時　六月十四日
一、行動　(1) 各職場毎に抗議集会をひらき、会社にたいする保安確立のための決議をおこない、あわせて部内の意志統一をはかること。
(2) 決議は本部に一括集約して社長、所長に提出する。
一、具体的細部事項については支部闘争委員長の指示に従うこと。

みいけ日誌

6月4日　合理化反対生活と権利を守る大集会（高松・組合員、主婦250名が参加）
5日　企画会議、団体交渉、総務部長会議、職対＝荒尾職業訓練所入所試験（6日まで）、キヤデー面接荒尾市住宅現地調査
6日　企画会議、総務部長会議、団体交渉、主婦会本部会議
7日　総務部長会議、総評合理化反対総決起大会（杵島で）、公判＝福岡刑事四部（8日まで）
8日　総務部長会議、九本指導委員会生産会議、九本財政部長会議、主婦会本部会議、社会主義協会十周年記念（福岡で）、山川菊栄さん来組、公判＝福岡刑事二部
9日　職対＝県職現務員募集打合せ
10日　本部役員会、保安担当者会議総務部長会議、主婦会支部長会議職対＝職対会議
11日　宮浦鉱変災・井上、村上氏死亡

敬弔

去る十一日、宮浦鉱で落盤により殉職された同志井上義武さんならびに村上進さんの霊にたいし、謹んで哀悼の意を表します。

三池炭鉱労働組合
三池炭鉱主婦会

忠隈労組とオルグ交流

忠隈労組では二十三年三月全員替り坑である昭和坑に配転協定をしたにかかわらず、会社はこんど同坑の放棄、または第二組合をおこすことを提案してきた。そのため闘争に入ったが、炭労中闘では六月八日、住友炭連さん下各支部の一せい二十四時間ストを指令六十三号で指令した。

九炭労では九州企業整備反対闘争指導委員会と検討した結果、現在合理化反対闘争中の支部（高松、杵島、三池、大牟、仁保）と嬉飯山炭地協大手とオルグ交流を十二日から実施することを決定した。